

# 本場食品衛生検査所

# 理化学検査情報

Vol. 54 2019 No. 4  
令和2年1月発行



今号の内容：令和元年10月から12月までに検査した  
残留農薬検査結果  
放射性物質検査結果  
総水銀検査結果  
PCB検査結果  
動物用医薬品検査結果

横浜市健康福祉局中央卸売市場本場食品衛生検査所  
電話：045-441-1153

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/shoku/shokuhineisei/>



## 1 残留農薬検査

令和元年10月から12月までの残留農薬検査は、国産農産物34検体（20種）、輸入農作物2検体（2種）について実施しました。このうち農薬を検出した検体数は14検体（19農薬）で、その内1検体が残留基準値を超えました。

なお、収去（しゅうきょ）とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

### (1) 国産農産物検査結果 検出値、基準値：検体1kgあたりに含まれる農薬のmg数(ppm)

検体名	産地	収去日	収去場所	検出農薬	結果	基準値
ナス	岩手県	令和元年10月16日	南部市場	なし	なし	なし
トマト	千葉県	令和元年10月16日	南部市場	ルフェヌロン	0.02	0.5
キュウリ	神奈川県	令和元年10月16日	南部市場	なし	なし	なし
ピーマン	岩手県	令和元年10月16日	南部市場	プロシミドン	0.19	5
キャベツ	神奈川県	令和元年10月23日	本場市場	なし	なし	なし
巨峰	長野県	令和元年10月23日	本場市場	なし	なし	なし
ブロッコリー	群馬県	令和元年10月23日	本場市場	なし	なし	なし
サツマイモ	茨城県	令和元年10月23日	本場市場	なし	なし	なし
トマト	千葉県	令和元年10月23日	本場市場	ボスカリド	0.04	5
キュウリ	神奈川県	令和元年10月23日	本場市場	プロシミドン	0.31	4
ズッキーニ	宮崎県	令和元年11月7日	本場市場	なし	なし	なし
サツマイモ	茨城県	令和元年11月7日	本場市場	なし	なし	なし
ミニトマト	山形県	令和元年11月7日	本場市場	なし	なし	なし
ネギ	山形県	令和元年11月7日	本場市場	なし	なし	なし
ブロッコリー	長崎県	令和元年11月7日	本場市場	なし	なし	なし
インゲン	長崎県	令和元年11月7日	本場市場	フルフェノクスロン	0.14	1
ミカン	和歌山県	令和元年11月7日	本場市場	なし	なし	なし
チンゲンサイ	茨城県	令和元年11月28日	南部市場	チアメトキサム	0.02	5
				クロチアニジン	0.06	10
ミズナ	茨城県	令和元年11月28日	南部市場	チアメトキサム	0.01	3
ネギ	山形県	令和元年11月28日	南部市場	なし	なし	なし
レタス	茨城県	令和元年11月28日	南部市場	なし	なし	なし
キャベツ	茨城県	令和元年11月28日	南部市場	なし	なし	なし
ダイコン	三浦半島	令和元年12月5日	本場市場	なし	なし	なし
ニンジン	横浜市	令和元年12月5日	本場市場	なし	なし	なし
キュウリ	神奈川県	令和元年12月5日	本場市場	クロルフェナピル	0.04	0.5
サツマイモ	千葉県	令和元年12月5日	本場市場	なし	なし	なし

検体名	産地	収去日	収去場所	検出農薬	結果	基準値
レタス	香川県	令和元年 12 月 5 日	本場市場	チアメトキサム	0.01	3
ミニトマト	熊本県	令和元年 12 月 5 日	本場市場	チアクロプリド	0.04	1
				ジメトモルフ	0.05	3
イチゴ	栃木県	令和元年 12 月 5 日	本場市場	フルジオキシソニル	0.06	5
ダイコン	神奈川県	令和元年 12 月 20 日	南部市場	なし	なし	なし
ミニトマト	愛知県	令和元年 12 月 20 日	南部市場	チアクロプリド	0.01	1
				シフルフェナミド	0.02	0.5
ジャガイモ	北海道	令和元年 12 月 20 日	南部市場	なし	なし	なし
ネギ	千葉県	令和元年 12 月 20 日	南部市場	なし	なし	なし
ダイコン	神奈川県	令和元年 12 月 20 日	南部市場	なし	なし	なし

(2) 輸入農産物検査結果 検出値、基準値：検体 1 kgあたりに含まれる農薬のmg数 (ppm)

検体名	産地	収去日	収去場所	検出農薬	結果	基準値
根生姜	中国	令和元年 10 月 16 日	南部市場	クロチアニジン	0.54	0.02
オレンジ	南アフリ カ共和国	令和元年 10 月 23 日	本場市場	アゾキシストロビン	0.02	10
				チアベンダゾール	0.71	10
				イマザリル	1.11	5

検出した農薬について

農薬名	種類	特徴
アゾキシストロビン	ストロビルリン系殺菌剤	1992年に開発された。ミトコンドリアのチトクローム bc1 複合体の Qo 部位に結合することで電子伝達系を阻害し、菌の呼吸を阻害すると考えられる。なお、本化合物の有効成分は立体異性体のうち E 体のみである。
イマザリル	イミダゾール系抗真菌剤	作用機序は真菌の細胞壁のエルゴステロール合成を阻害する。添加物では防かび剤として使用されている。
クロチアニジン	ネオニコチノイド系殺虫剤	1988年に日本企業で開発された。作用機構は昆虫中枢神経系のニコチン性アセチルコリン受容体に対するアゴニスト作用である。日本では 2002 年に初めて農薬登録された。
クオルフェナピル	ピロール環を有する殺虫剤（防ダニ剤）	1998年に開発され、作用機序はミトコンドリアにおける参加的リン酸化反応のうち、リン酸化のみを阻害し、酸化リン酸化を共役阻害することによって殺虫作用を示すと推察されている。

農薬名	種類	特徴
シフルフェナミド	アミドキシム系殺菌剤	日本で開発され、麦類、いちご、メロン等のうどんこ病および灰星病に防除効果を示す。作用機序は解明されていない。海外では韓国、イスラエルで登録されており日本では2002年12月に初めて農薬登録された。
チアクロプリド	ネオニコチノイド系殺虫剤	作用機序は中枢神経シナプス後膜のニコチン作動性アセチルコリン受容体に結合し、ナトリウムチャネルを開放し続け、神経細胞に連続的な異常興奮を起こすことにより、殺虫作用を発現すると考えられている。
チアベンダゾール	ヘテロサイクリック系殺菌剤寄生虫駆除剤	米国で開発された殺菌剤であり、細胞内のチューブリンに結合し、有糸分裂を阻害することにより作用すると考えられている。寄生虫駆除剤としては、蠕虫に特異的な酵素であるフマル酸塩還元酵素を阻害することにより作用すると考えられている。添加物では防かび剤として使用されている。
チアメトキサム	ネオニコチノイド系殺虫剤	作用部位は昆虫中枢神経系のニコチン性アセチルコリン受容体である。日本では2002年に初めて農薬登録がなされた。
フルジオキサニル	フェニルピロール系殺菌剤	1984年にスイスで合成された。主に植物体の表層に留まった状態で抗菌活性を発揮する。作用機序は糸状菌の原形質膜に作用してグリセロール生合成を阻害することにより物質の透過性に影響を及ぼし、アミノ酸やグルコースの細胞内取り込みを阻害することで抗菌作用を示すことが示唆されている。日本では1996年に農薬登録され、2011年に国内において、防カビ目的で収穫後の農作物に使用するための添加物として指定されている。
フルフェノクスロン	ベンゾフェニル系殺虫剤	作用機序はキチン質の合成阻害によるものである。欧米諸国や中南米、アフリカ諸国等40か国以上で農薬登録されており、日本では1993年に初めて登録された。
プロシミドン	ジカルボキシイミド系殺菌剤	植物病原菌（灰色かび病、菌核病等）に対し、菌糸の伸張育成を阻害すると考えられている。日本では1981年に初めて農薬登録された。
ボスカリド	アニリド系殺菌剤	1992年に発見された。ミトコンドリア内膜のコハク酸脱水素酵素系複合体の電子伝達を阻害することで灰色かび病、菌核病に効果を示す。日本では2005年に初めて農薬登録された。
ルフェヌロン	ベンゾイルフェニルウレア系殺虫剤	昆虫表皮の主成分であるキチン質の合成を阻害し、幼虫の脱皮阻害を引き起こすことで殺菌作用を示す。日本では1998年に初回農薬登録された。

参考：内閣府食品安全委員会 食品安全情報システム 評価書

環境省 水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について  
農薬工業会

## 2 放射性物質検査

令和元年10月から12月までの放射能検査は、水産物33検体、農産物6検体、福祉保健センターからの依頼検査12検体の合計51検体について実施しました。基準値を超えた検体はありませんでした。

放射性セシウムの基準値はセシウム134とセシウム137の合計で設定されています。

- 乳児用食品については1kgあたり50ベクレル以下
- 飲料水については1kgあたり10ベクレル以下
- 牛乳については1kgあたり50ベクレル以下
- その他、一般食品については1kgあたり100ベクレル以下

### (1) 水産物検査結果

セシウム検出値、合計：1kgあたりのベクレル数

検体名	産地	漁獲水域	買取日	セシウム134 検出値	セシウム137 検出値	セシウム 合計	備考
サワラ（サゴシ）	宮城県	宮城県沖石巻港	令和元年10月4日	不検出	不検出	不検出	天然
カツオ	宮城県	宮城県沖気仙沼港	令和元年10月4日	不検出	不検出	不検出	天然
サンマ	北海道	北海道沖根室港	令和元年10月4日	不検出	不検出	不検出	天然
スズキ（フッコ）	千葉県	千葉県沖船橋港	令和元年10月4日	不検出	不検出	不検出	天然
サワラ	宮城県	宮城県沖石巻港	令和元年10月8日	不検出	不検出	不検出	天然
サンマ	北海道	北海道沖根室港	令和元年10月8日	不検出	不検出	不検出	天然
マイワシ	青森県	青森県沖八戸港	令和元年10月8日	不検出	不検出	不検出	天然
マダイ	宮城県	宮城県沖石巻港	令和元年10月8日	不検出	不検出	不検出	天然
ヤリイカ	宮城県	宮城県沖石巻港	令和元年10月25日	不検出	不検出	不検出	天然
ババガレイ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和元年10月25日	不検出	不検出	不検出	天然
サワラ	青森県	青森県沖八戸港	令和元年10月25日	不検出	不検出	不検出	天然
ブリ（ワカシ）	宮城県	宮城県沖石巻港	令和元年11月8日	不検出	不検出	不検出	天然
サンマ	宮城県	宮城県沖石巻港	令和元年11月8日	不検出	不検出	不検出	天然
ネズミザメ	宮城県	宮城県沖気仙沼港	令和元年11月8日	不検出	不検出	不検出	天然
キンメダイ	千葉県	千葉県沖銚子港	令和元年11月8日	不検出	不検出	不検出	天然
サケフィレ	青森県	青森県沖八戸港	令和元年11月15日	不検出	不検出	不検出	天然
メカジキフィレ	宮城県	宮城県沖気仙沼港	令和元年11月15日	不検出	不検出	不検出	天然
サンマ	宮城県	宮城県沖気仙沼港	令和元年11月15日	不検出	不検出	不検出	天然
マサバ	宮城県	宮城県三陸北部沖気仙沼港	令和元年11月29日	不検出	不検出	不検出	天然
マダイ	青森県	青森県沖三八港	令和元年11月29日	不検出	不検出	不検出	天然
ウスメバル	青森県	青森県沖三八港	令和元年11月29日	不検出	不検出	不検出	天然
マダラ	北海道	北海道沖函館港	令和元年11月29日	不検出	不検出	不検出	天然
サンマ	宮城県	宮城県沖女川港	令和元年12月6日	不検出	不検出	不検出	天然
メカジキフィレ	宮城県	宮城県沖気仙沼港	令和元年12月6日	不検出	不検出	不検出	天然

検体名	産地	漁獲水域	買取日	セシウム134 検出値	セシウム137 検出値	セシウム 合計	備考
サケフィレ	青森県	青森県沖八戸港	令和元年12月6日	不検出	不検出	不検出	天然
ヤリイカ	宮城県	宮城県沖石巻港	令和元年12月6日	不検出	不検出	不検出	天然
マコガレイ	青森県	青森県沖下北港	令和元年12月13日	不検出	不検出	不検出	天然
ウスメバル	青森県	青森県沖下北港	令和元年12月13日	不検出	不検出	不検出	天然
ヤリイカ	宮城県	宮城県沖石巻港	令和元年12月13日	不検出	不検出	不検出	天然
ジンドウイカ (ヒイカ)	宮城県	宮城県沖石巻港	令和元年12月24日	不検出	不検出	不検出	天然
メカジキフィレ	宮城県	日本太平洋沖気仙沼港	令和元年12月24日	不検出	不検出	不検出	天然
キアンコウ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和元年12月24日	不検出	不検出	不検出	天然
マサバ	千葉県	房総沖銚子港	令和元年12月24日	不検出	不検出	不検出	天然

(2) 農産物検査結果

セシウム検出値、合計：1kgあたりのベクレル数

検体名	産地	買取日	セシウム134 検出値	セシウム137 検出値	セシウム合計	備考
カブ	青森県	令和元年10月11日	不検出	不検出	不検出	露地
サツマイモ	茨城県	令和元年10月11日	不検出	不検出	不検出	露地
巨峰	長野県	令和元年10月11日	不検出	不検出	不検出	露地
ハクサイ	茨城県	令和元年11月21日	不検出	不検出	不検出	露地
ダイコン	神奈川県	令和元年11月21日	不検出	不検出	不検出	露地
ラ・フランス	山形県	令和元年11月21日	不検出	不検出	不検出	露地

(3) 福祉保健センターからの依頼検査結果

セシウム検出値、合計：1kgあたりのベクレル数

検体名	食品分類	産地	依頼部署	買取日	セシウム134検出値	セシウム137検出値	セシウム合計
牛乳	牛乳	なし	旭区	令和元年10月30日	不検出	不検出	不検出
片栗粉	一般食品	なし	旭区	令和元年10月30日	不検出	不検出	不検出
レトルトパウチ食品	乳児用食品	なし	旭区	令和元年10月30日	不検出	不検出	不検出
米(精米)	一般食品	茨城県	泉区	令和元年10月30日	不検出	不検出	不検出
牛乳	牛乳	北海道	泉区	令和元年10月30日	不検出	不検出	不検出
レトルトパウチ食品	乳児用食品	なし	泉区	令和元年10月30日	不検出	不検出	不検出
米(精米)	一般食品	山形県	中区	令和元年11月5日	不検出	不検出	不検出
牛乳	牛乳	岩手県	中区	令和元年11月5日	不検出	不検出	不検出
清涼飲料水	乳児用食品	なし	中区	令和元年11月5日	不検出	不検出	不検出
調製粉乳	乳児用食品	なし	青葉区	令和元年11月5日	不検出	不検出	不検出
びん詰食品	乳児用食品	なし	青葉区	令和元年11月5日	不検出	不検出	不検出
牛乳	牛乳	安曇野	青葉区	令和元年11月5日	不検出	不検出	不検出

### 3 総水銀検査

令和元年10月から12月までの魚介類の総水銀検査は、10検体（8魚種）について実施しましたが、暫定的規制値を超えた検体はありませんでした。

なお、収去（しゅうきょ）とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

総水銀の暫定的規制値：検体1kgあたり0.4mg

#### 総水銀検査結果

検出値：検体1kgあたりに含まれる水銀のmg数(ppm)

検体名	産地	収去日	検出値
ブリ（ワカシ）	宮城県	令和元年10月31日	0.04
マイワシ	青森県	令和元年10月31日	0.02
サンマ	宮城県	令和元年10月31日	0.02
マアジ	長崎県	令和元年10月31日	0.06
クロソイ	北海道	令和元年10月31日	0.11
カンパチ（養殖）	鹿児島県	令和元年11月14日	0.07
シマアジ（養殖）	三重県	令和元年11月14日	0.2
マダイ（養殖）	愛媛県	令和元年11月14日	0.11
ブリ（養殖）	鹿児島県	令和元年11月14日	0.18
マダイ（養殖）	静岡県	令和元年11月14日	0.33

### 4 PCB検査

令和元年10月から12月までの魚介類のPCB検査は、5検体（5魚種）について実施しました。測定は衛生研究所にて実施したところ、暫定的規制値を超えた検体はありませんでした。

なお、収去（しゅうきょ）とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

総水銀の暫定的規制値：遠洋沖合魚介類については1kgあたり0.5mg

内海内湾魚介類については1kgあたり3mg

#### PCB検査結果

検出値、基準値：検体1kgあたりに含まれるPCBのmg数(ppm)

検体名	産地	収去日	検出値	基準値
ブリ（ワカシ）	宮城県	令和元年10月31日	不検出	3
マイワシ	青森県	令和元年10月31日	不検出	0.5
サンマ	宮城県	令和元年10月31日	不検出	0.5
マアジ	長崎県	令和元年10月31日	不検出	3
クロソイ	北海道	令和元年10月31日	不検出	3

## 5 動物用医薬品検査（抗生物質、合成抗菌剤、ホルモン剤、内寄生虫用剤等）

令和元年10月から12月までの動物用医薬品検査は、養殖魚5検体、鶏卵10検体について実施しました。いずれも基準値を超える検体はありませんでした。

なお、収去（しゅうきょ）とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

### 動物用医薬品検査結果

検出値：検体1kgあたりのmg数(ppm)

検体名	産地	収去日	検出薬剤	検出値	基準値
カンパチ（養殖）	鹿児島県	令和元年11月14日	不検出	不検出	なし
シマアジ（養殖）	三重県	令和元年11月14日	不検出	不検出	なし
マダイ（養殖）	愛媛県	令和元年11月14日	不検出	不検出	なし
ブリ（養殖）	鹿児島県	令和元年11月14日	不検出	不検出	なし
マダイ（養殖）	静岡県	令和元年11月14日	不検出	不検出	なし
鶏卵	国産	令和元年11月25日	不検出	不検出	なし
鶏卵	国産	令和元年11月25日	不検出	不検出	なし
鶏卵	国産	令和元年11月25日	不検出	不検出	なし
鶏卵	国産	令和元年11月25日	不検出	不検出	なし
鶏卵	国産	令和元年11月25日	不検出	不検出	なし
鶏卵	千葉県	令和元年11月25日	不検出	不検出	なし
鶏卵	国産	令和元年11月25日	不検出	不検出	なし
鶏卵	国産	令和元年11月25日	不検出	不検出	なし
鶏卵	国産	令和元年11月25日	不検出	不検出	なし
鶏卵	国産	令和元年11月25日	不検出	不検出	なし